

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第Ⅰ学年 重複A類型		日常生活の指導			
目 標	(知) 具体的な活動や体験を通して、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について関心をもち、感じたことを伝えようとすることができる。 (学) 自分のことに取り組もうとしたり、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「朝の活動」 ・挨拶 ・靴の履き替え ・排せつ ・水分補給 ・健康観察 ・ストレッチ ・朝の会（係活動、挨拶、歌、健康観察、日課・予定の確認など）		(知) 用便や身に関する初歩的な知識や技能を身に付ける。 簡単な日課や身の回りの人との関わり方、集団の中での役割に関心をもつことができる。 簡単な手伝いや仕事、決まりに関心をもつことができる。 教師と一緒に、楽しく体を動かすことができる。 (思) 用便や身に関する基本的な方法や一連の流れに気付き、教師と一緒に行動することができる。 身の回りの簡単な日課に気付き、教師と一緒に日課に沿って行動しようとする ことができる。 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとするこ とができる。 朝の会に教師と一緒に参加しようとする ことができる。 身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとする ことができる。 身の回りの簡単な決まりに従って教師と一緒に行動しようとする ことができる。 体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学) 自分のことに取り組もうとしたり、意欲をもって学んだり、生活に生か そうとする態度を養う。	学級	26
	「帰りの活動」 ・排せつ ・水分補給 ・健康観察 ・帰りの会（係活動、挨拶、振り返り、明日の予定の確認） ・挨拶 ・靴の履き替えなど				
Ⅰ 学期授業時数					26
2 学 期	「朝の活動」 ・挨拶 ・靴の履き替え ・排せつ ・水分補給 ・健康観察 ・ストレッチ ・朝の会（係活動、挨拶、歌、健康観察、日課・予定の確認など）				学級
	「帰りの活動」 ・排せつ ・水分補給 ・健康観察 ・帰りの会（係活動、挨拶、振り返り、明日の予定の確認） ・挨拶 ・靴の履き替えなど				
2 学期授業時数					30
3 学 期	「朝の活動」 ・挨拶 ・靴の履き替え ・排せつ ・水分補給 ・健康観察 ・ストレッチ ・朝の会（係活動、挨拶、歌、健康観察、日課・予定の確認など）				学級
	「帰りの活動」 ・排せつ ・水分補給 ・健康観察 ・帰りの会（係活動、挨拶、振り返り、明日の予定の確認） ・挨拶 ・靴の履き替えなど				
3 学期授業時数					14
総授業時数					70

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部第1学年		生活単元学習	①国語「こくご☆」（東京書籍） ②数学「さんすう☆」（教育出版） ③社会「知育えほんマークのずかん」（鈴木出版） ④地図「空から日本地図えほん」（株式会社世界文化社） ⑤理科「講談社の動く図鑑move はじめてのずかん、しよくぶつ」（講談社） ⑥保健体育「どんどんめくってほっけん からだのふしぎ」（学研） ⑦職業「絵でわかるこどものせいかつずかん1 みのまわりのきほん」（合同出版） ⑧家庭「ひとりでできるもん4 うれしいごはん、パン、めん料理」（金の星社） ⑨道徳「絵でわかるこどものせいかつずかん4 おつきあいのきほん」（合同出版） ⑩外国語「えいごにほんごおうえん（わくわく音あそびえん）」（東京書店）		
重複A類型					
目標	(知) 身近な社会との関わりに気付くとともに、社会生活に必要な基礎的な能力を育てる。 (思) 日常生活に関係の深い事柄に関心をもつとともに、課題や解決策に気付き、考えたことを表現しようとする。 (学) 明るく豊かな家庭生活の大切さに気付くとともに、現在や将来の生活に生かす実践的な態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
	「新入生歓迎会に参加しよう」 ・新入生歓迎会	①②	(知) 入学した友達を知るとともに、自分の役割を果たそうとすることができる。 (思) 学部の友達との関わりについて関心をもち、感じたことを表現しようとする ことができる。 (学) 高等部という集団に気付き、自ら働き掛けようとするすることができる。	重複全体	1
	「季節を感じよう（1）」 ・作品作り ・お楽しみ会（類型） ・ゲームやダンス ・校外学習 ・絵本の読み聞かせ	①②③④ ⑤⑥⑨⑩	(知) 身の回りにある生命や自然、日常生活や身近な社会事象、集団生活に必要なきまりに活動や体験を通して触れることができる。 (思) 身の回りにある生命や自然、日常生活や身近な社会事象、集団生活に必要なきまりについて調べてまとめたり、活動や体験を通して感じたことを表現したりする ことができる。 (学) 身近な集団に関わろうとする意欲をもち、友達と協力して活動したり自分の役 割を果たそうとしりしようとするすることができる。	重複学年 類型 学級	6
	「野菜の栽培をしよう（1）」 ・種まき、苗の植え付け、水やり、収穫	①③⑤	(知) 育てる野菜について知るとともに、自分の役割を果たそうとすることができる。 (思) 栽培活動を通して、身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現 することができる。 (学) 育てる植物を大切に育てようとするすることができる。	学級	4
	「調理実習をしよう」 ・調理実習	⑧	(知) 家庭に中の自分の役割に気付き、食に係る技能を身に付けることができる。 (思) 調理実習に必要な事柄に触れ、日常生活において課題を解決する力の基礎を養 うことができる。 (学) よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとするすることができる。	重複学年 学級	1
	「1学期を振り返ろう」 ・1学期の振り返り ・教室の整理・掃除	⑦	(知) 1学期の出来事を思い出し、振り返ることができる。夏休みについて関心をも つことができる。 (思) 1学期の頑張ったことや楽しかったことについて、感じたことを伝えようと することができる。 (学) 1学期の振り返りを通して、2学期への意欲をもつことができる。	学級	1
1学期授業時数					13
2 学 期	「食について考えよう」 ・季節の食べ物、栄養素	⑤⑥⑧	(知) 身の回りの旬の食材や食べ物に含まれている栄養素などを知ることができ る。 (思) 家庭での食事や給食の献立から栄養バランスを考え、発表することができ る。 (学) 栄養バランスについて意識した生活を送ろうと意識することができる。	学級	1
	「軽食を作ろう」 ・軽食の調理実習	⑧	(知) 家庭に中の自分の役割に気付き、食に係る技能を身に付けることができ る。 (思) 調理実習に必要な事柄に触れ、日常生活において課題を解決する力の基礎 を養うことができる。 (学) よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとすることができる。	重複学年 学級	1
	「野菜、花の栽培をしよう（2）」 ・種まき、苗の植え付け、水やり、収穫	①③⑤	(知) 育てる野菜について知るとともに、自分の役割を果たそうとすることができ る。 (思) 栽培活動を通して、身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現 することができる。 (学) 植物を大切に育てようとするすることができる。	学級	3
	「季節を感じよう（2）」 ・作品作り ・お楽しみ会（類型） ・ゲームやダンス、歌 ・校外学習 ・絵本の読み聞かせ	①②③④ ⑤⑥⑨⑩	(知) 身の回りにある生命や自然、日常生活や身近な社会事象、集団生活に必要なきまりに活動や体験を通して触れることができる。 (思) 身の回りにある生命や自然、日常生活や身近な社会事象、集団生活に必要なきまりについて調べてまとめたり、活動や体験を通して感じたことを表現したりする ことができる。 (学) 身近な集団に関わろうとする意欲をもち、友達と協力して活動したり自分の役 割を果たそうとしりしようとするすることができる。	重複学年 類型 学級	5
	「買物学習をしよう」 ・売り手と買い手に扮しての買物学習	②⑨	(知) 金銭の扱い方に関心をもつことができる。 (思) 教師と一緒に金銭を扱うことができる。 (学) 売り手や買い手という役割に、意欲的に取り組もうとすることができる。	学級 類型	4
	「2学期を振り返ろう」 ・2学期の振り返り ・教室の整理・掃除	⑦	(知) 2学期の出来事を思い出し、振り返ることができる。冬休みについて関心をも つことができる。 (思) 2学期の頑張ったことや楽しかったことについて、感じたことを伝えようと することができる。 (学) 2学期の振り返りを通して、3学期への意欲をもつことができる。	学級	1
2学期授業時数					15
3 学 期	「季節を感じよう（3）」 ・作品作り ・お楽しみ会（類型） ・ゲームやダンス ・校外学習 ・絵本の読み聞かせ	①②③⑥ ⑤⑨	(知) 身の回りにある生命や自然、日常生活や身近な社会事象、集団生活に必要なきまりに活動や体験を通して触れることができる。 (思) 身の回りにある生命や自然、日常生活や身近な社会事象、集団生活に必要なきまりについて調べてまとめたり、活動や体験を通して感じたことを表現したりする ことができる。 (学) 身近な集団に関わろうとする意欲をもち、友達と協力して活動したり自分の役 割を果たそうとしりしようとするすることができる。	重複学年 類型 学級	4
	「3年生とのお別れ会をしよう」 ・お別れ会の準備、お別れ会をする	①②⑨	(知) 行事について知り、準備や活動に対して見通しをもつことができる。 (思) 活動や自分の役割を理解し、飾りの準備や発表の内容を考えることができる。 (学) 友達や先輩後輩に働きかけ、行事を成功させようとして協力して活動をするこ とができる。	重複全体 学級	2
	「1年間を振り返ろう」 ・1年間のまとめ ・教室の整理・掃除	⑦	(知) 1年間の出来事を思い出し、振り返ることができる。春休みについて関心をも つことができる。 (思) 1年間の頑張ったことや楽しかったことについて、感じたことを伝えようと することができる。 (学) 1年間の振り返りを通して、2年生への意欲をもつことができる。	学級	1
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書			
高等部 第1学年 重複A類型		作業学習 紙工				
目標		(知) 教師とのやり取りを通じて働くために必要な習慣（挨拶、報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け）を理解し、活用することができる。 (思) 教師からの働き掛けに応じたり、安全に道具等を扱ったりすることで、働くということを体感することができる。 (学) 他者との関わりの中で働くことへの関心を高め、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。				
期	単元名・指導内容		単元目標		授業形態	時数
1 学 期	「作業オリエンテーション」 ・作業グループについて知る。		(知) 紙工の作業学習でどのような作業をするか、体験を通して知ることができる。 (思) 自分が習得するべき技術について知り、目標をもつことができる。 (学) 一緒に作業を行うグループの仲間と協力して作業をしようとする気持ちを養う。		グループ 学級	2
	「製品作り」 ・紙工の工程を確認して作業をする。 ・牛乳パックからラミネートをはがす。 ・ラミネートをはがした紙を細かくちぎる。 ・紙をミキサーにかける。 ・均一の厚さや形になるように紙をすく。 ・ローラーなどで水分を取る。 ・封筒、ぼち袋、季節の置物などを基本に製品づくりをする。 ・社会人講師による指導		(知) 作業で使用する道具の名称を知り、教師と一緒に扱うことができる。 (思) 道具を正確に使用するためのポイントを意識して取り組むことができる。 (学) 教師と繰り返し活動を行うことで、作業に対して自分から取り組みようとする気持ちを養う。			23
	「1学期のまとめ」 ・1学期の活動のまとめ、振り返り		(知) 自分の成果と課題について知ることができる。 (思) 今までの活動を教師と一緒に振り返り、自分がどこまでできるようになったかを考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。			1
1 学期授業時数						26
2 学 期	「製品づくり」 ・紙工の工程や製品づくりの確認をする。 ・文化祭に向けての製品づくりをする。 ・社会人講師による指導		(知) 製品づくりの工程の中で自分が担当する作業を行うことができる。 (思) 教師からの働き掛けに応じて、自分なりに身体を動かして作業をしようすることができる。 (学) 講師への挨拶や返事、言葉遣いについて知り、実践しようとする気持ちを育てる。		グループ 学級	14
	「文化祭に向けての取組」 ・文化祭に向けての製品づくりをする。 ・看板作り、店だし練習などをする。		(知) 文化祭までの活動や文化祭での役割について知り、最後まで取り組むことができる。 (思) 繰り返しして同じ活動をするので、見通しをもって活動できるようになる。 (学) 仲間と協力したりお客様への対応を学んだりして、人と関わろうとする気持ちを養う。			10
	「製品づくり」 ・ピースデパートに向けての製品づくりをする。 ・紙すき、製品づくりに班分けし、製品づくりを行う。		(知) 製品づくりに必要な技術について知ることができる。 (思) 手本を見たり、一緒に作業をしたりするを通して、正しい技術を身に付けることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。			5
	「2学期のまとめ」 ・2学期の活動のまとめ・振り返り		(知) 自分の成果と課題について知ることができる。 (思) 今までの活動を教師と一緒に振り返り、自分がどこまでできるようになったかを考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。			1
2 学期授業時数						30
3 学 期	「製品づくり」 ・みなとフェスタに向けての製品づくりをする。 ・封筒、ぼち袋、季節の置物などを基本に製品づくりをする。		(知) 製品づくりの工程の中で自分が担当する作業を行うことができる。 (思) 教師からの働き掛けに応じて、自分なりに身体を動かして作業をしようすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。		グループ 学級	3
	「校内実習」		(知) 職場実習や道路学習、作業学習等で体験・学習したことを校内実習に生かす。 (思) 将来の生活に向けて、自分の適性や課題（考える力、協力、持続力、体力、基本的生活習慣）について考える機会とする。 (学) 実習を通して働くことや、普段の生活との違いを知ろうとする態度を養う。			10
	「1年間のまとめ」 ・1年間の活動のまとめ、振り返り		(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 1年間の活動を振り返り、自分が頑張ってきたことを発表することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。			1
3 学期授業時数						14
総授業時数						70

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書			
高等部 第Ⅰ学年 重複A類型		音楽科	①音楽「音楽☆☆☆☆」(東京書籍)			
目 標	(知) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。					
	(思) 音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。					
(学) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。						
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数	
Ⅰ 学 期	「校歌を知らう」 ・校歌の範唱を聴き、歌ったり、身体表現をした りする活動	①	(知) 歌唱の活動を通して、曲想を味わったり、思いに合った表現をするために必要な技能を身に付けたりすることができる。 (知) 器楽の活動を通して、曲想や楽器の音色を味わったり、思いに合った表現をするために必要な技能を身に付けたりすることができる。 (知) 音楽づくりの活動を通して、声や身の回りの様々な音の特徴や面白さなどに触れて気付いたり、気付きを生かした表現や思いに合った表現をするために必要な技能を身に付けたりすることができる。 (知) 身体表現の活動を通して、拍や曲の特徴的なリズム、曲名と動きとの関わりに気付いたり、思いに合った動きで表現するために必要な技能を身に付けたりすることができる。 (知) 鑑賞の活動を通して、身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。 (思) 歌唱の活動を通して、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌ったり、身体表現をしたりしたいという思いをもつことができる。 (思) 器楽の活動を通して、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。 (思) 音楽づくりの活動を通して、音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもったりすることができる。 (思) 身体表現の活動を通して、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かして表現したいという思いをもつことができる。 (思) 鑑賞の活動を通して、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。	類型 学級	2	
	「季節の歌を知らう(春・夏)」 ・春、夏を感じることができる曲で身体表現をする活動		3			
	「楽器で楽しもう」 ・楽器を鳴らし、音を楽しむ活動		4			
	「音を楽しもう(Ⅰ)」 ・自分で作った楽器を使用して演奏する活動		2			
	「鑑賞(Ⅰ)」 ・音楽を鑑賞する活動 ・曲想を感じ取って、身体で表現する活動 ・世界の音楽の特徴について知り、日本の音楽との違いを感じる活動		2			
Ⅰ学期授業時数					13	
2 学 期	「季節の歌を知らう(秋・冬)」 ・秋・冬を感じることができる曲を身体表現をする活動	①		類型 学級	4	
	「音を楽しもう(Ⅰ)」 ・自分で作った楽器を使用して演奏する活動				4	
	「楽器の演奏を楽しもう」 ・伴奏に合わせて楽器を演奏する活動				4	
	「鑑賞(2)」 ・音楽を鑑賞する活動 ・曲の速さの違いを感じ取って、身体で表現する活動				3	
2学期授業時数					15	
3 学 期	「季節の歌を知らう(冬・春)」 ・冬、春を感じることができる曲を身体表現をする活動	①			類型 学級	1
	「心を込めて歌おう」 ・卒業証書授与式での歌を歌ったり、身体表現をしたりする活動					2
	「鑑賞(3)」 ・日本音楽を鑑賞する活動 ・箏曲を聴き、箏の特徴を知る活動					3
	「まどめをしよう」 ・1年間を振り返り、歌ったり演奏したりする活動					1
3学期授業時数					7	
総授業時数					35	

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 重複A類型		美術科	① 美術「小学館の図鑑NEOアート図解 はじめての絵画」(小学館)		
目標	(知) 造形的な表し方を工夫する技能に触れることで、材料や用具の扱いに親しむことができる。 (思) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて教師と一緒に考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。 (学) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「学級旗の制作」(様々な道具・技法を用いた学級旗作り) ・デザインやテーマの検討 ・デザイン画や下書きを基にした表現	①	(知) 自分が担当する部分を知り、決められた道具を教師と一緒に扱って制作することができる。 (思) デザインを考えたり選択したりして制作することができる。 (学) 自分が担当する部分や友達と一緒に活動している部分を知り、友達と協力しながら作成する態度を養う。	学級	7
	「いろいろな技法」(モダンテクニックを用いた表現) ・ドリップングやパチックなどのモダンテクニックの理解 ・筆やスタンプなどの道具を用いた表現 ・モダンテクニックを用いた表現 ・作品の鑑賞		(知) いろいろな技法で使用する道具の扱い方を知り、制作することができる。 (思) いろいろな技法を使い、表現することができる。 (学) いろいろな技法を使って制作することを通して、創造活動の喜びを味わう態度を養う。		6
Ⅰ 学期授業時数					13
2 学 期	「絵画の制作」(モダンテクニックを用いた絵画の制作) ・構図やテーマの検討 ・ドリップングやパチックなどのモダンテクニックを用いた表現 ・様々な道具や材料を用いた制作活動	①	(知) いろいろな技法で使用する道具に教師と一緒に使用しながら親しむことで、絵画の制作することができる。 (思) 資料を参考に図案を選び、表現することができる。 (学) いろいろな技法を知り、表現することを通して、創造活動の喜びを感じることができる。	学級	8
	「立体物の制作」～貯金箱作りやお面作り～(紙粘土を用いた立体作品の制作) ・デザインやテーマの検討 ・紙粘土を用いた立体作品の制作活動 ・作品の鑑賞、展示		(知) 粘土を形成する活動を通して、粘土の性質や道具の扱いに親しむことができる。 (思) 資料を参考にしたり、テーマを選択したりしてデザイン画を描き、制作物を表現することができる。 (学) 貯金箱作りやお面作りを通して創造する喜びを味わう態度を養う。		7
2 学期授業時数					15
3 学 期	「墨で描く」 ・テーマの検討 ・墨や筆を用いた表現の理解、体験 ・墨や筆を用いた表現 ・作品の鑑賞、展示 ・様々な道具や材料(色紙、巻物等)を用いた制作活動	①	(知) 墨を使って絵を描くことで、墨の性質や筆の扱いに親しむことができる。 (思) 資料を参考にしたり選んだ図案を選び、墨の濃淡や、線の太さ、鮮やかさなどを生かして表現することができる。 (学) 独特の味わいや美しさを感じ取り、創造活動の喜びを味わう態度を養う	学級	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書	
高等部 第1学年 重複A類型		特別活動		
目標	(知) 仲間と協働して様々な活動に取り組み、集団での適切な行動の仕方を身に付ける。 (思) 集団生活における課題を見出し、解決するために話し合ったり、意思決定をしたりすることができる。 (学) 主体的に集団や社会に参画し、人間関係をより良く形成したり、自己実現を図ろうとしたりする態度を養う。			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「学級組織作り(1)」 ・学級組織作り ・係分担 ・1学期の目標決め	(知) 新しい仲間や教師について知ることができる。 (思) 自分の役割や目標について教師と一緒に考えることができる。 (学) 仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	2
	「学級活動(1)」 ・学級活動の計画 ・学級活動の実施	(知) 1学期の学級での活動や計画について教師や仲間と一緒に確認することができる。 (思) 学級の中で、自分の意見を表現したり、仲間の意見を聞いたりしながら、課題解決に向けて教師や仲間と一緒に取り組むことができる。 (学) 仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	4
	「体育祭の取組」 ・係分担 ・プログラムの確認 ・練習の取組の確認	(知) 集団の中での自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を教師と確認し、課題解決に向けて考えることができる。 (学) 仲間や教師と協働しながら行事に取り組もうとする態度を養う。	重複全体 学級	3
	「学部集会」 ・新入生歓迎会への参加	(知) 集団の中での自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 仲間や教師と一緒に参画しようとする態度を養う。	学部	1
	「1学期の振り返りと夏休みの生活」 ・集会活動 ・夏休みの過ごし方	(知) 集団の中での自分の役割や自分の目標について教師と一緒に振り返ることができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を確認し、課題解決に向けての取組について教師と一緒に考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。		3
1学期授業時数				13
2 学 期	「学級組織作り(2)」 ・学級組織作り ・係分担 ・2学期の目標決め	(知) 新しい仲間や教師について知ることができる。 (思) 自分の役割や目標について教師と一緒に考えることができる。 (学) 仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	2
	「学級活動(2)」 ・学級活動の計画 ・学級活動の実施	(知) 1学期の学級での活動や計画について教師や仲間と一緒に確認することができる。 (思) 学級の中で、自分の意見を表現したり、仲間の意見を聞いたりしながら、課題解決に向けて教師や仲間と一緒に取り組むことができる。 (学) 仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	4
	「文化祭の取組」 ・文化祭活動や当日の計画	(知) 集団の中での自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を教師と確認し、課題解決に向けて考えることができる。 (学) 仲間や教師と協働しながら行事に取り組もうとする態度を養う。	重複全体 学部 学級	5
	「生徒会選挙の取組(1)」 ・立候補者演説を聞く ・投票の仕方を知る。 ・投票の日時を確認する。	(知) 生徒会選挙の投票の仕方と投票の日時について知ることができる。 (思) 生徒会選挙の目的を理解し、立候補者の意見を聞くことができる。 (学) 積極的に学校生活の充実と向上に参画しようとする態度を養う。	学級	1
	「2学期の振り返りと冬休みの生活」 ・集会活動 ・冬休みの過ごし方	(知) 集団の中での自分の役割や自分の目標について教師と一緒に振り返ることができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を確認し、課題解決に向けての取組について教師と一緒に考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学級 学年	3
2学期授業時数				15
3 学 期	「学級組織作り(3)」 ・学級組織作り ・係分担 ・3学期の目標決め	(知) 3学期の学級での活動や計画について教師や仲間と一緒に確認することができる。 (思) 学級の中で、自分の意見を表現したり、仲間の意見を聞いたりしながら、課題解決に向けて教師や仲間と一緒に取り組むことができる。 (学) 仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	2
	「生徒会選挙の取組(2)」 ・投票の仕方と場所を確認する ・投票	(知) 生徒会選挙の投票の仕方と場所について確認することができる。 (思) 生徒会選挙の目的を理解し、自分で判断して投票を行うことができる。 (学) 集団の形成者として、積極的に学校生活の充実と向上に参画しようとする態度を養う。	学級	1
	「学級活動(3)」 ・学級活動の計画 ・学級活動の実施	(知) 1学期の学級での活動や計画について教師や仲間と一緒に確認することができる。 (思) 学級の中で、自分の意見を表現したり、仲間の意見を聞いたりしながら、課題解決に向けて教師や仲間と一緒に取り組むことができる。 (学) 仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	2
	「学部集会」 ・3年生を送る会	(知) 集団の中での自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を教師と確認し、課題解決に向けて考えることができる。 (学) 仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学部	1
	「1年間の振り返り」 ・集会活動	(知) 集団の中での自分の役割や自分の目標について教師と一緒に振り返ることができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を確認し、課題解決に向けての取組について教師と一緒に考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学年 学級	1
3学期授業時数				7
総授業時数				35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 重複A類型		自立活動			
目 標	障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うとともに、心身の調和的発達の基盤を培うことができる。				
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数	
Ⅰ 学 期	6区分27項目から個々の生徒に必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導を行う。実態に応じて、単元・取組を設定する。	個別の指導計画に基づく	学級 個別	279.5	
Ⅰ 学期授業時数				279.5	
2 学 期	6区分27項目から個々の児童に必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導を行う。実態に応じて、単元・取組を設定する。	個別の指導計画に基づく	学級 個別	322.5	
2 学期授業時数				322.5	
3 学 期	6区分27項目から個々の児童に必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導を行う。実態に応じて、単元・取組を設定する。	個別の指導計画に基づく	学級 個別	150.5	
3 学期授業時数				150.5	
総授業時数				752.5	

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 重複A類型		総合的な探究の時間			
目 標	(知) 計画に基づいて行動し、仲間と協力して活動することの大切さを知る。 (思) 自分をよく知り、仕事、生活について学び、自分の将来に関心をもち、自分を表現する力を養う。 (学) 自分の将来のことを考え、働くことや余暇活動に興味関心をもって行動することができる。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「進路学習（年間計画）」 ・オリエンテーション ・1年間の進路学習計画について知る		(知) 1年間の総合的な探究の時間についての大切さを理解する。 (思) 1年間の総合的な探究の時間について知り、そのために身に付けておくことを考える。 (学) 総合的な探究の時間についての必要性を感じ、意欲関心を高める。	類型 学級	0.5
	「進路学習（自分を知らう）」 ・自分の得意なことや頑張っていることを考える		(知) 自分について得意なこと頑張っていることを他者から聞くことで自分について知ることができる。 (思) 自分の得意なことや頑張っていることについて考え、言葉や文章に表すことができる。 (学) 自分の得意なことや頑張っていることが仲間や学級に役に立っていることを実感し、主体的に係や当番の仕事をする意欲を養う。	類型 学級	0.5
	「職場見学」【校外学習】 ・事前学習で見学場所について知る ・職場に行き、見学をする ・事後学習で振り返りを行う		(知) 様々な仕事の種類や内容、職場での過ごし方などについて知ることができる。 (思) 見学をした感想を、「職場見学ノート」で表現することができる。 (学) 計画に基づいて安全に留意し、見学先の方との交流を通して社会参加や作業経験を行い、安全やマナーを意識して行動する態度を養う。	類型	4
	「サークル活動」 ・希望する余暇活動を自分で選択する		(知) 様々な種類の余暇があることを知ることができる。 (思) 自分でやってみたい余暇を選択することができる。 (学) 自分自身の余暇の過ごし方について考え、余暇活動を教師と一緒に楽しもうとすることができる。	類型 学級	1.5
Ⅰ学期授業時数					6.5
2 学 期	「平和について考えよう」 ・平和について知り、大切にする方法を考える		(知)平和や平和な社会について知ることができる。 (思)平和を大切にする方法や平和を愛する気持ちを自分なりの方法で表現しようとすることができる。 (学)生活する中で平和を大切にしようとすることができる。	学級	0.5
	「学校周辺を知らう」 ・事前学習 ・交通ルールや集団活動のマナー ・事後学習		(知) 学校の場所やその周辺の施設について気付いたり、交通ルールや集団活動のマナーを知ることができる。 (思) 交通ルールや集団活動のマナーについてロールプレイング等を通して実践することができる。 (学) 学校周辺の施設や環境に興味関心をもち活動することができる。	学級	2
	「仕事模擬体験」 ・事前学習 ・仕事模擬体験 ・事後学習		(知) 卒業後の生活について知り、仕事の体験をすることを意識することができる。 (思) 仕事内容に見通しをもち、教師と一緒に活動をするこでできる。 (学) 仕事内容に興味関心をもち、取り組むことができる。	学級	2
	「国際理解学習」 ・外国の文化		(知) 外国と日本の文化の違いについて、音楽や写真等を通して知ることができる。 (思) 言語や音楽などの異文化に触れ、楽しむことができる。 (学) 外国の文化について興味関心をもち、言語や音楽を自分なりに表現することができる。	学級	1
	「校内実習事前学習（Ⅰ）」 ・グループ顔合わせ ・グループ活動		(知) 校内実習の目的、日程、仕事内容（作業種目）、仕事場所を知ることができる。 (思) 校内実習の作業グループの目的を考えて伝え、自分の目標を決めることができる。 (学) 仕事内容の作業種目や役割を知り、校内実習の見通しをもつこができる。	学級	2
2学期授業時数					7.5
3 学 期	「校内実習事前学習（2）」 ・準備		(知) 自分の仕事や役割を理解して、仲間と協力をして活動や準備を行う。 (思) 手順書を見たり、仲間や教師と相談したりしながら作業の知識や技能を知り、活用していくことができる。 (学) 校内実習の自分の仕事内容を理解して、安全に留意して自主的に取り組むことができる。	学級	1
	「校内実習事後学習」		(知) 校内実習で自分が頑張ったこと、難しかったことを振り返り仕事を通して得られた達成感を実感することができる。 (思) 「実習ノート」に自分の成果と課題を記入し、発表したり仲間の発表を聞いたりして、今後の学校生活での取組を考えることができる。 (学) 校内実習で学習したことが、職場体験実習につながることを知ることができる。	学級	0.5
	「進路学習（余暇活動について）」 ・事前学習 ・交流体験		(知) どのような余暇活動があるのかを知ることができる。 (思) 余暇活動について見通しをもち、自分なりに活動に参加することができる。 (学) 教師や友達の様子にも注目しながら活動をすることができる。	学級	1.5
	「進路学習（1年間のまとめ）」		(知) 1年間の進路学習を通して、自分に合った仕事や、仕事をしながら生活することについて、体験して積み上げてきたことを振り返ることができる。 (思) 自分の得意なことや課題を考え、2年生での学習に活かすことができるよう考えることができる。 (学) 校内実習と職場体験実習の違いを知り、学校以外での地域の事業所で実習を行うことを知ることができる。	学級	0.5
3学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5